

経営比較分析表（令和6年度決算）

鳥根県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透1未訓ガ	教臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
642,590	53,661	非該当	非該当	7：1

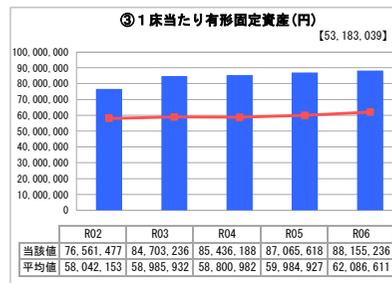
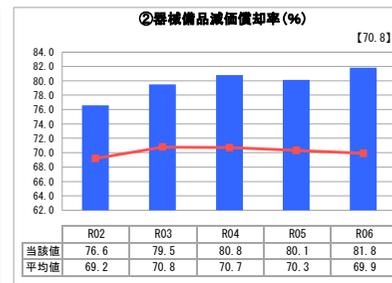
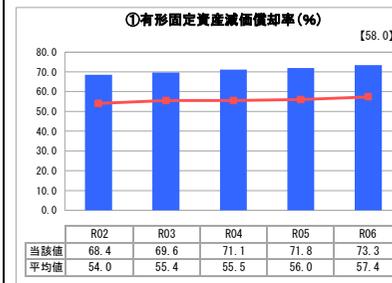
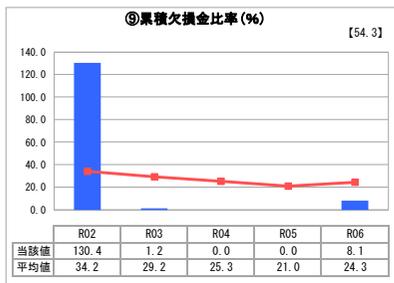
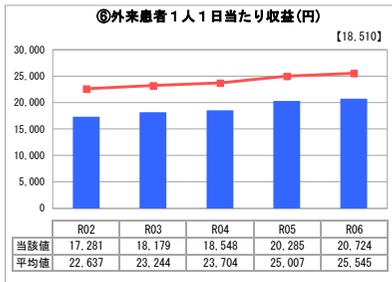
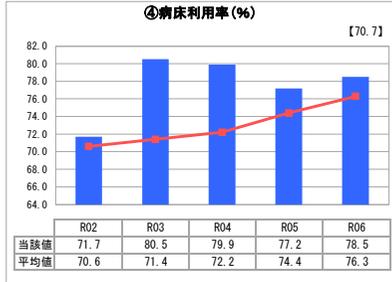
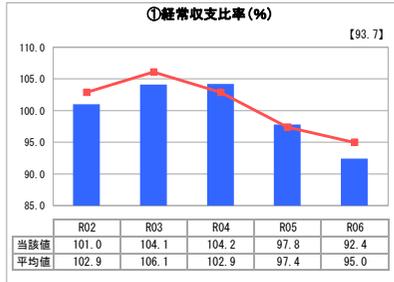
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 教…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
522	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
40	6	568
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
499	-	499

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワークを考慮)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院では、三次救急を担う高度救命救急センターを設置するとともに、ドクターヘリの基地病院として、県全域から重症患者を受け入れています。

また、新型コロナウイルスに係る医療を提供するための医療措置協定を鳥根県と締結していることや、「地域がん診療連携拠点病院」として放射線治療、外来化学療法センターの再整備による化学療法等のがん診療の更なる充実など、高度・特殊医療の提供に努めています。

さらに、地域医療支援病院として、代診医派遣や地域医療従事者への研修等地域医療へき地医療の支援に取り組むとともに、基幹災害拠点病院・原子力災害拠点病院として、災害医療の体制を整備しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、毎年度策定している「経営改善実行プラン」に基づき各種取組を進めた結果、入院患者数、外来患者数ともに増加したこと、患者一人当たりの単価が増加したことなどにより、医業収益は対前年度2.7ポイント増加しました。一方、昨年度から引き続き物価高騰に伴う光熱費の高止まり、民間企業の賃上げに伴う委託費の増加等に加え、人事委員会勧告に対応した給与費の大幅な増加により、経常収支比率は対前年度5.4ポイントの減少となり、昨年度に引き続き赤字となりました。

今後は物価高騰などによる材料費価格等の高止まりが続くことが予想されるため、引き続き経営の健全化・効率化に向け、病院全体で取組を推進していきます。

2. 老朽化の状況について

現施設は、移転新築から26年が経過し、建築外装や照明器具等の更新時期を迎えています。

また、建築内装や電気・空調・衛生設備も近い将来更新時期を迎えます。

今後は、施設・設備の適正管理を行いながら、長期的な計画を策定し、整備費の抑制や費用の平準化を図りつつ、必要な修繕・更新を進めていきます。

全体総括

当院は、県内全域を対象とした救命救急医療・災害医療など政策医療を提供する県立病院としての役割を今後とも果たしていく必要があります。

そのため、令和6年3月に、更なる経営強化のための取組を進め、県立病院として持続可能な地域医療を提供するための指針となる「鳥根県立病院経営強化プラン」を策定しました。

また、令和6年度までの取組も踏まえ、具体的な院内の取組内容を示した「中央病院経営改善実行プラン2025」を策定しました。

これまでの取組の着実な継続と更なる診療報酬単価の増、経費の削減・圧縮、地域の医療機関との連携強化に一層取り組む等、職員が一丸となって、経営の改善に取り組んでいきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。